



沓掛小学校だより

10月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 593

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

かかわりを大切に

副校長 榎本 純子

先週の土曜授業、道徳授業地区公開講座には、たくさんの保護者の皆様、地域の方々に御来校いただきありがとうございました。道徳授業の他にも、学校支援本部の皆様や地域の方々に御協力いただいた様々な取組がありましたので、御紹介いたします。

5年生で行った「共に生きよう」。今回は、車椅子ユーザーの方、視覚障害のある方、高齢者の方、聴覚障害のある方に来ていただきました。お話をうかがったり質問したりすることを通して、共に生きるために自分たちにできることを考えたり、社会のあり方を見直したりすることをねらいとしています。子供たちは、様々な立場の方と直接かかわることで、「こんな小さな段差でも車椅子を使っていると大変なんだ。」「すべての人にとって住みやすい町にするにはどうしたらいいのかな。」など、新たな視点から身の回りを見つめ直すことができるようになりました。実はこの「いろいろな方とかかわる」学習は、今回が初めてではありません。本校では3年生で近隣の高齢者施設を訪問し、簡単なゲームや出し物をして、利用者の方々とかかわる体験をしています。それを元に、5年生の1学期には、アイマスクや車椅子、高齢者疑似体験セット等を使っての体験活動を行い、それが今回の学習へとつながっています。

6年生で行った「お仕事見本市」。今年は、パティシエ、介護福祉士、幼稚園教諭、建設業、デザイナー等、12種類の異なる職業の方に来ていただき、それぞれのブースで仕事の内容やなぜその仕事をするようになったのかということ等について、お話していただきました。「世の中には自分の知らない様々な仕事がある。」「どんな仕事にも苦労はあるけれど、やりがいがあるんだな。」ということに気付くことによって、自分は将来どんな仕事をしたいのかを考えるきっかけになります。この後6年生は、11月に近隣の様々な施設やお店の方々に御協力いただいて、職場体験も行います。半日という短い時間ではありますが、実際の仕事を体験することで、働くことに対する興味・関心はより一層高まります。さらに最近は、ほとんどの中学校で、3日～5日程度の職場体験が行われています。小学校での体験が中学校へとつながっていきます。

このように、様々な方々と直接かかわる経験の積み重ねが子供たちの心を豊かにし、相手を思いやる気持ちや多くの人に支えられて生きているんだという気持ちを育てていきます。また、今回お話して下さった皆さんの方からも、仕事に対する誇りや自信、日々を楽しく過ごしていらっしゃる「前向きなエネルギー」を感じました。きっと子供たち一人一人の心の中にも、そのエネルギーが蓄えられたことと思います。御協力いただいた学校支援本部の皆様、地域の方々に改めて感謝申し上げます。

さて、今月は運動会があります。名札の着用等についてのお便りを配布しますので、ぜひお読みください。すべての皆様に安心して気持ちよく子供たちの活躍を応援していただくためにも、御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

大竹かづゑ栄養士は、任期満了のため9月末日で退職いたします。後任は未定ですが、その間は、区所属の栄養士が本校の給食を担当しますので御安心ください。後任が決まりましたら、お知らせいたします。